

レジメンcode:	C61-02	備考
適応がん種:	前立腺癌	
レジメン名:	cabazitaxel	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
CTX	ジェブタナ	20~25	mg/m ²	点滴(1時間)	d1

day1【ケモセーフ使用】

1) ファモチジン	20mg	1 A
デキサート	6.6mg	1 V
ポララミン	5mg	1 A
生食	50ml	1 本
	主管①	点滴 15 分
2) 生食	50ml	1 本
	主管②	点滴 30 分
3) ジェブタナ	20~25 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
ブドウ糖液5%	250ml	1 袋
	主管③	点滴 1時間 インラインフィルター必須
4) 生食	50ml	1 本

フランシュ

〈所要時間 約2時間30分〉

連日

1) プレドニゾロン	5mg	2錠/day
	内服	1日1回 or 1日2回

*インラインフィルター(0.2又は0.22 μm)を使用する

*ポリ塩化ビニル製の輸液バッグ及びポリウレタン製の輸液セットの使用は避ける。

*添付溶解液はエタノールを含有する。

*溶解後、室温で8時間、冷所保存で48時間以内に使用すること。

*本剤全量に対して添付溶解液全量を使用して溶解する。(カバジタキセル濃度10mg/mlの溶液となる)

次ページあり

ジェブタナ添付文書より

本剤の減量・休薬・中止基準

副作用 (GradeはNCI-CTCAEによる)	処置
適切な治療にも関わらず持続するGrade 3 以上の好中球減少症（1週間以上） （「2. 重要な基本的注意」の項（1）参照）	好中球数が1,500/ mm^3 を超えるまで休薬し、その後、用量を20mg/ m^2 に減量して投与を再開する。
発熱性好中球減少症又は好中球減少性感染	症状が回復又は改善し、好中球数が1,500/ mm^3 を超えるまで休薬し、その後、用量を20mg/ m^2 に減量して投与を再開する。
Grade 3 以上の下痢、又は水分・電解質補給等の適切な治療にも関わらず持続する下痢	症状が回復又は改善するまで休薬し、その後、用量を20mg/ m^2 に減量して投与を再開する。
Grade 3 以上の末梢性ニューロパシー	投与を中止する。
Grade 2 の末梢性ニューロパシー	用量を20mg/ m^2 に減量する。